

大柱1 男女共同参画社会の実現に向けた意識の変革と教育の推進

1-1 男女共同参画社会の実現に向けた制度・慣行の見直し、意識改革の推進

指 標	現状値 (基準値)	目標値	実績値
「男は仕事、女は家事・育児」という固定的な性別役割分担意識にとらわれない男性の割合	2019年度 59.1%	2025年度 80%	2024年度 60.7%

1 「男は仕事、女は家事・育児」という固定的な性別役割分担意識にとらわれない人の割合

固定的な性別役割分担意識に反対する人*の割合は、69.8%でした。男女別でみると、男性の割合は60.7%、女性の割合は79.0%で、女性の方が反対の意識が高くなっています。

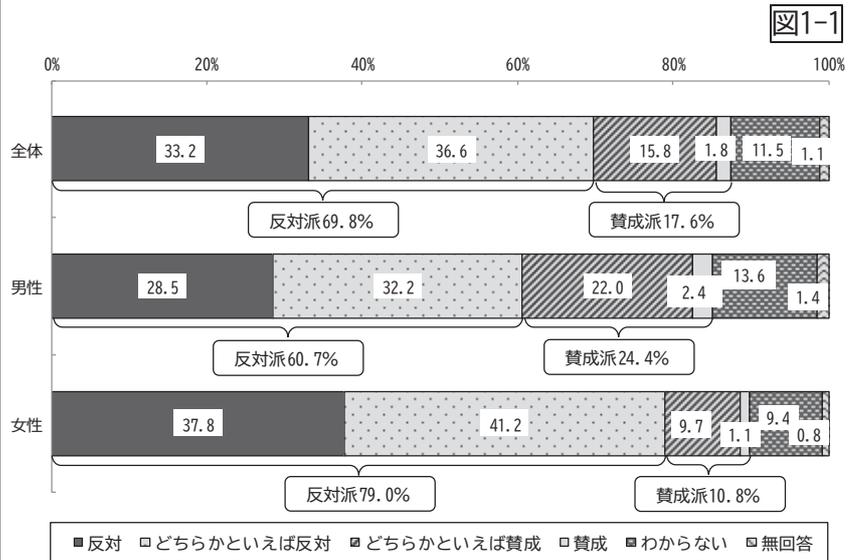
(図1-1)

* 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に「反対」「どちらかといえば反対」と答えた人

全国と静岡県の「男は仕事、女は家事・育児」という固定的な性別役割分担意識にとらわれない人の割合を比較すると、2007年度以降は全国調査の値を上回っています。

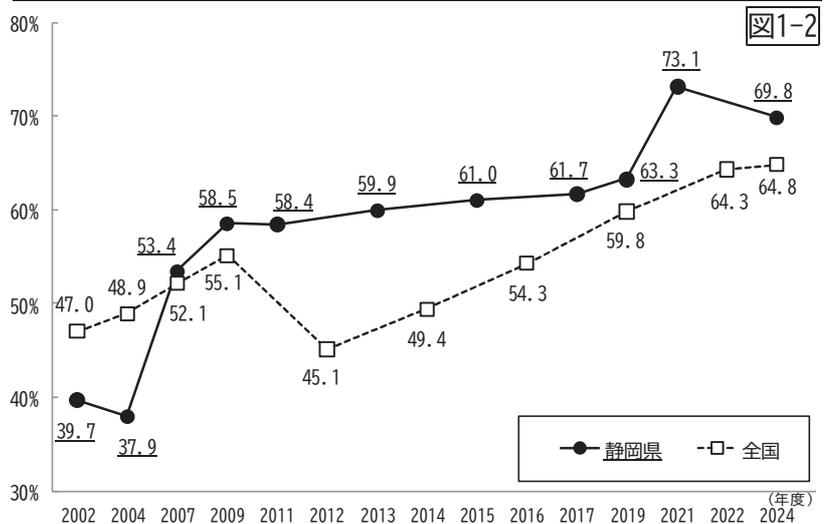
(図1-2)

1-1 「男は仕事、女は家事・育児」という役割分担意識 (県、男女別)



(資料) 「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査 (2024)」

1-2 「男は仕事、女は家事・育児」という役割分担意識 (全国、県比較)



(資料) 「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査」

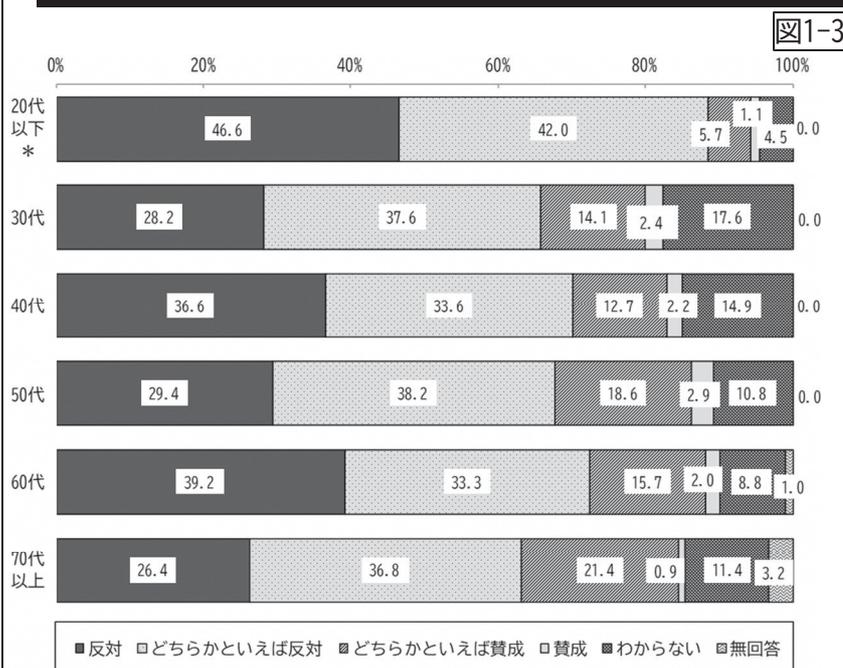
「男女共同参画に関する世論調査」「女性の活躍推進に関する世論調査」(内閣府)

年代別では、20代以下*の88.6%が反対と答えている一方、30代以上との差が大きい状況にあります。

(図1-3)

*20代以下：18歳～29歳

1-3 「男は仕事、女は家事・育児」という役割分担意識(年代別)



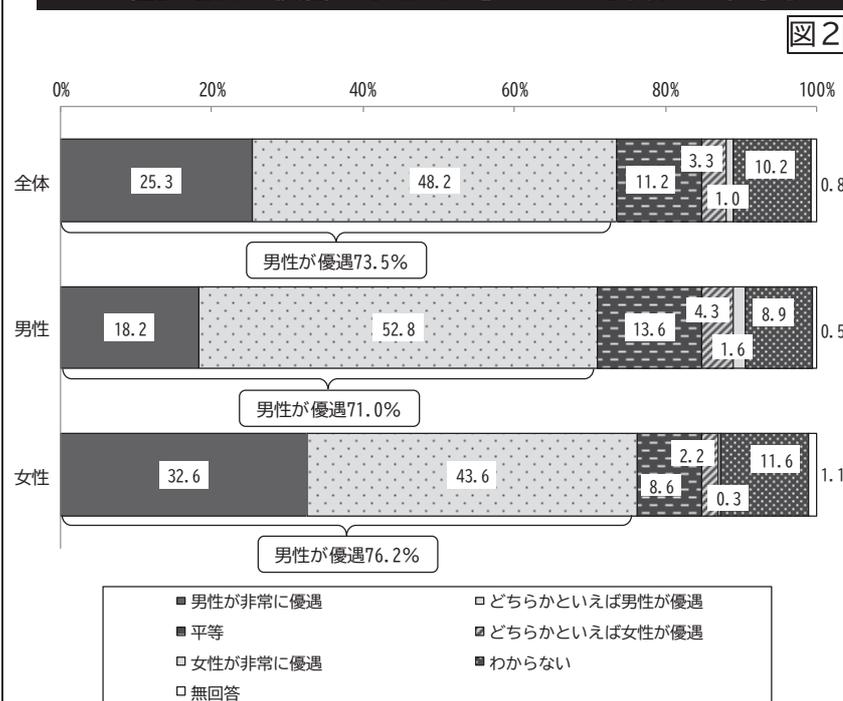
(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(2024)」

2 「社会通念・慣習・しきたり」における男女の平等感
「男性が非常に優遇」「どちらかといえば男性が優遇」とする人の割合

「社会通念・慣習・しきたり」における男女の平等感について男性が優遇されていると感じている人の割合は、全体で73.5%、男性が71.0%、女性が76.2%と、女性の方が高くなっています。

(図2)

2 「社会通念・慣習・しきたり」における男女の平等感



(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(2024)」

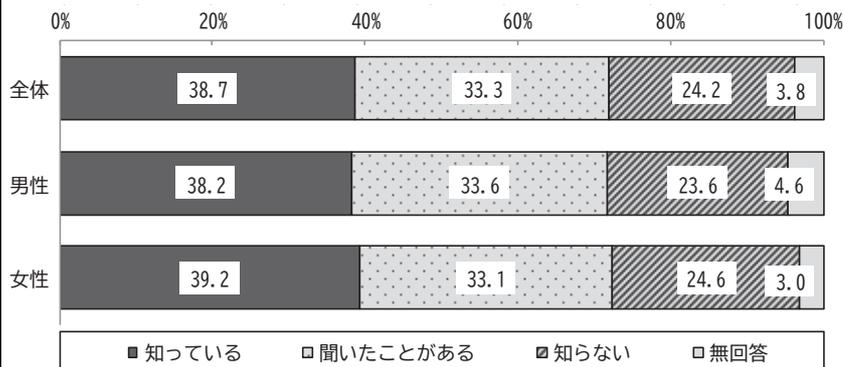
3 「男女共同参画社会」という用語を知っている人の割合

「知っている」と答えた人の割合は全体が38.7%で、男女差はほとんどない状況です。

(図3-1)

3-1 「男女共同参画社会」という用語を知っている人の割合(男女別)

図3-1



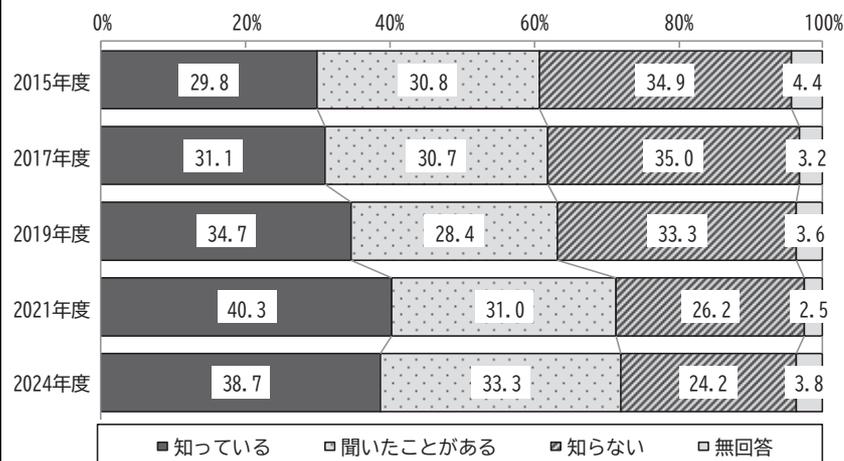
(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(2024)」

「知っている」+「聞いたことがある」と答えた人の割合は72.0%(2024年度)と、増加しています。

(図3-2)

3-2 「男女共同参画社会」という用語を知っている人の割合(経年比較)

図3-2



(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(2024)」

4 「人権尊重の意識が生活の中に定着した県である」と感じる人の割合

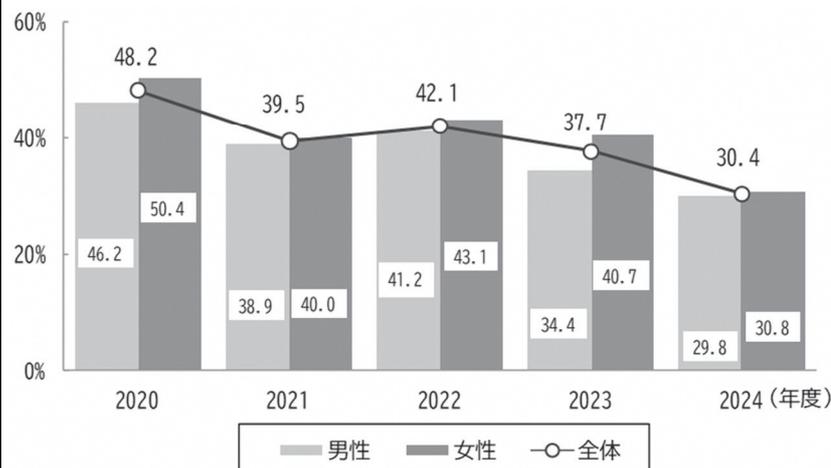
「人権尊重の意識が生活の中に定着した県である」と感じる人の割合は、30.4%(2024年度)と、前年度から減少しました。

(図4)

*2020年度については、『今の静岡県が「人権尊重の意識が生活の中に定着した住みよい県」になっていると感じますか?』という設問に対する結果を、グラフに掲載

4 「人権尊重の意識が生活の中に定着した県である」と感じる人の割合

図4



(資料)「人権問題に関する県民意識調査」「県政世論調査」

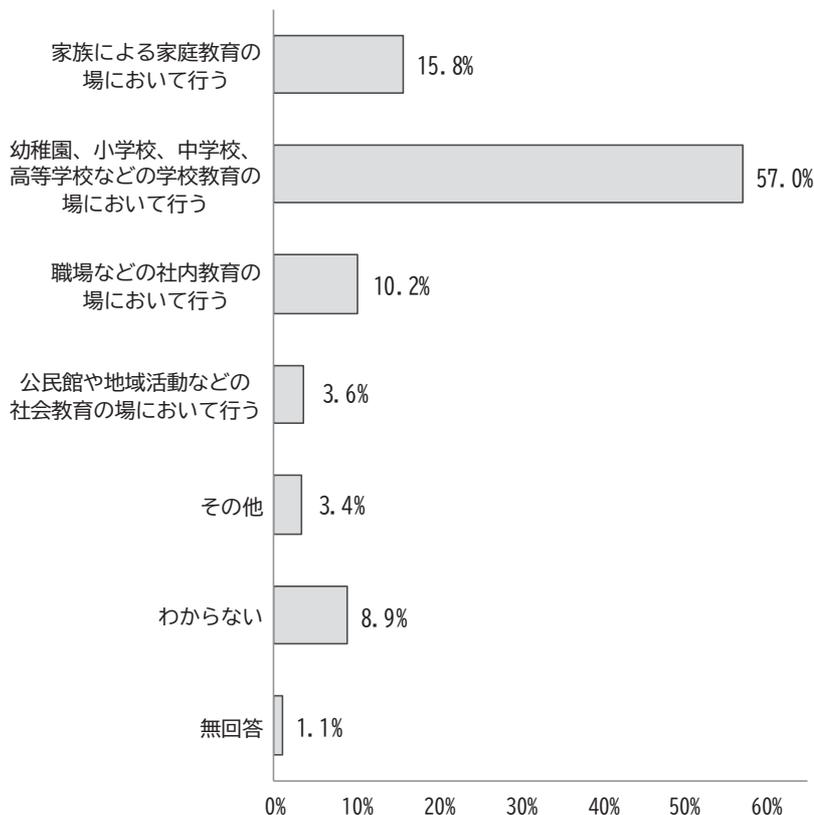
4-① 人権の尊重、男女平等を推進する教育をどこで行うべきと考えるか

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校などの学校教育の場において人権尊重や男女平等を推進する教育をすべき」と考えている人の割合が最も多い状況です。

(図4-①)

4-① 人権の尊重、男女平等を推進する教育をどこで行うべきと考えるか

図4-①



(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(2024)」

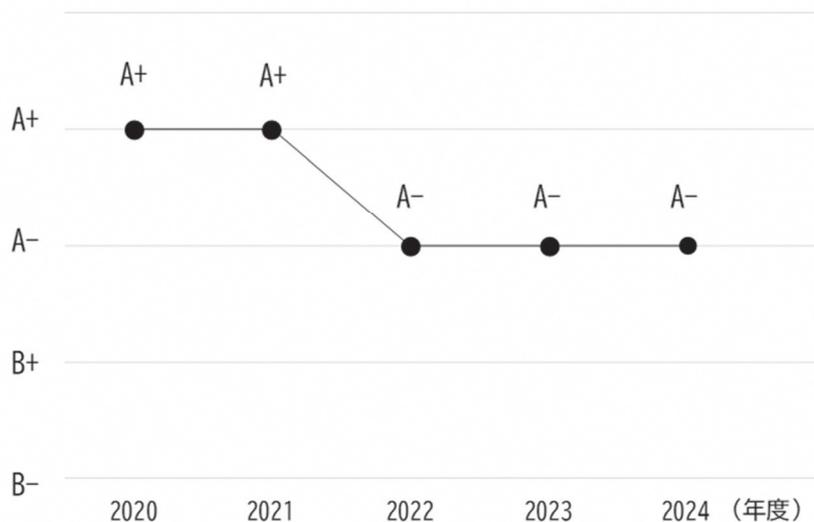
5 「あざれあ」指定管理者の外部評価

あざれあの指定管理者の外部評価は、A-でした。

(図5)

5 「あざれあ」指定管理者の外部評価

図5



※記載年度は、評価対象年度

(資料) 県男女共同参画課調べ

6 市町の男女共同参画に係る条例制定率及び計画策定率

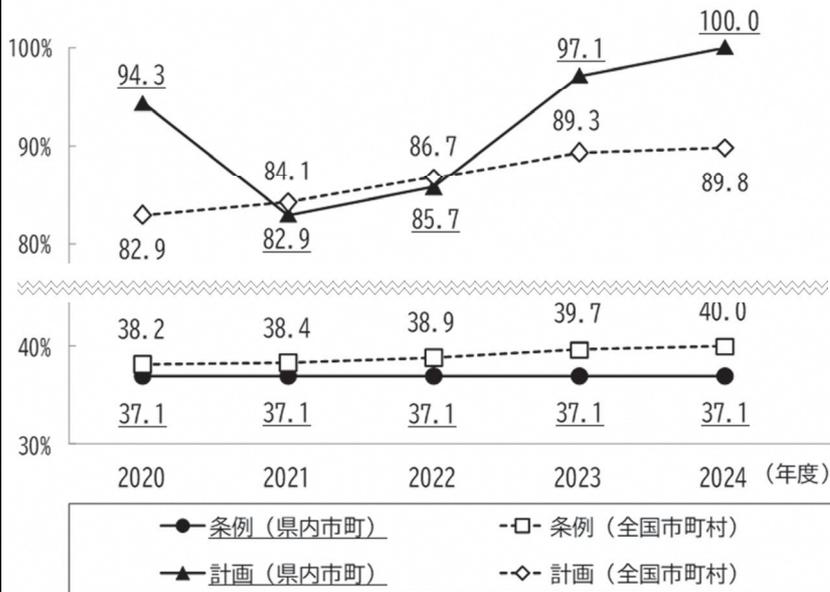
県内市町の男女共同参画に係る計画策定率は、計画期間が終了し未改定となっていた計画の改定が完了した市町があり、100.0%（2024年度）となりました。

（図6）

*計画策定率について、総合計画等と一体で策定しているものを含む数値を掲載

6 市町の男女共同参画に係る条例制定率及び計画策定率

図6



（資料）県男女共同参画課調べ、「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査」（内閣府）

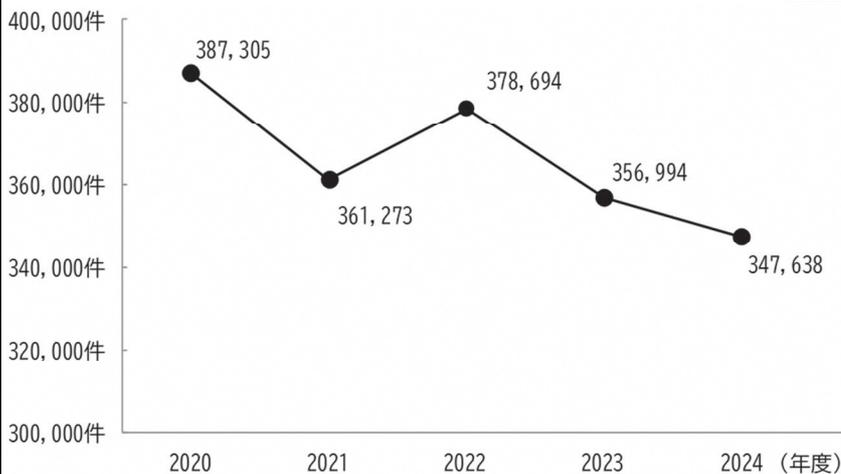
7 県男女共同参画センター「あざれあナビ」へのアクセス件数

県男女共同参画センター「あざれあナビ」へのアクセス件数は、347,638件（2024年度）と、前年度から減少しました。

（図7）

7 県男女共同参画センター「あざれあナビ」へのアクセス件数

図7



（資料）県男女共同参画課調べ

大柱1 男女共同参画社会の実現に向けた意識の変革と教育の推進
1-2 男女共同参画の推進に関する教育・学習の充実

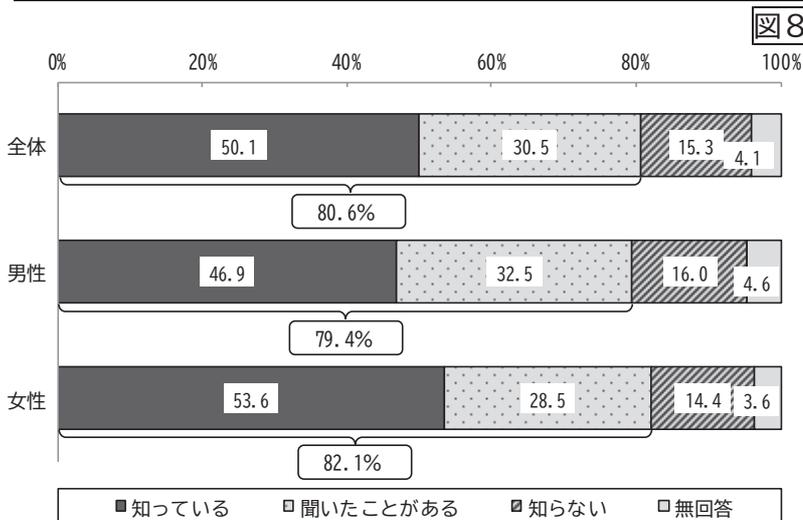
指 標	現状値 (基準値)	目標値	実績値
「ジェンダー」という用語を知っている（「知っている」+「聞いたことがある」）人の割合	2019年度 59.4%	2025年度 90%	2024年度 80.6%

8 「ジェンダー」という用語を知っている（「知っている」+「聞いたことがある」）人の割合

「ジェンダー」という用語を知っている（「知っている」+「聞いたことがある」）人の割合は、全体で80.6%で、女性の方が少し多い状況です。

（図8）

8 「ジェンダー」という用語を知っている（「知っている」+「聞いたことがある」）人の割合



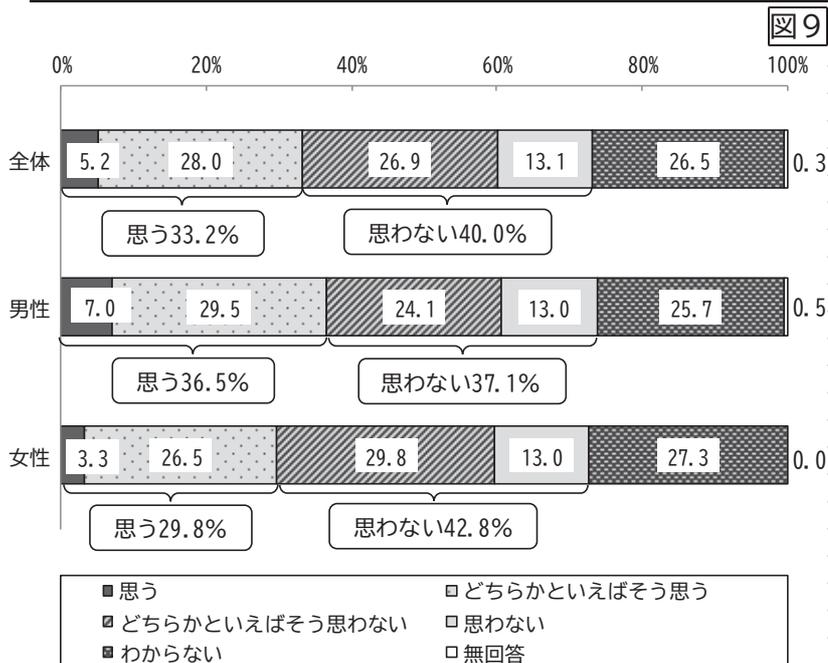
（資料）「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査（2024）」

9 性別にかかわらず個性と能力を発揮できる機会が確保されていると思う県民の割合

確保されていると思う県民の割合は、全体で33.2%でした。男性の36.5%に比べ、女性は29.8%と低い状況です。

（図9）

9 性別にかかわらず個性と能力を発揮できる機会が確保されていると思う県民の割合



（資料）「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査（2024）」

10 「学校教育」における男女の平等感

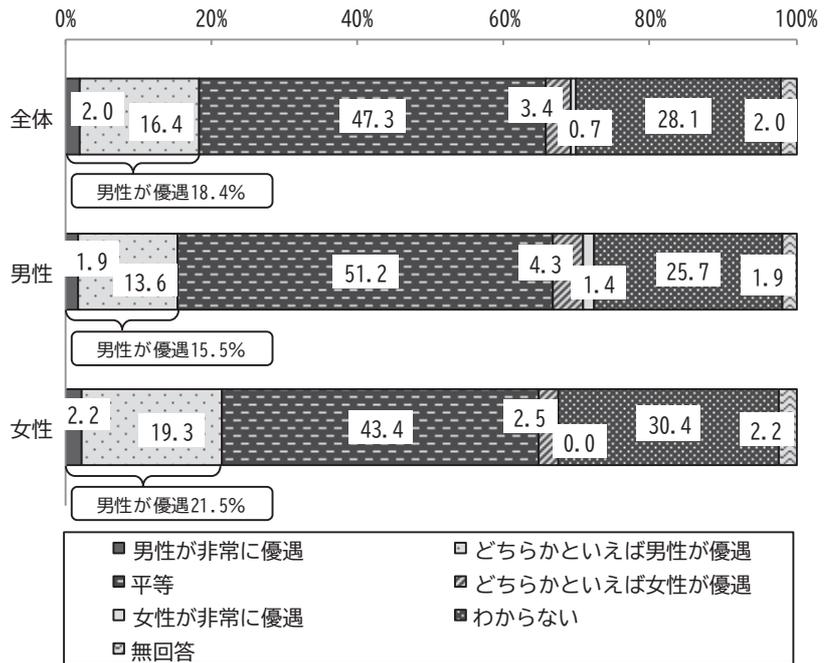
「男性が非常に優遇」「どちらかといえば男性が優遇」とする人の割合

「学校教育」における男女の平等感について男性が優遇されていると感じている人の割合は、男性が15.5%、女性が21.5%と、女性の方が高くなっています。

(図10)

10 「学校教育」における男女の平等感

図10



(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(2024)」

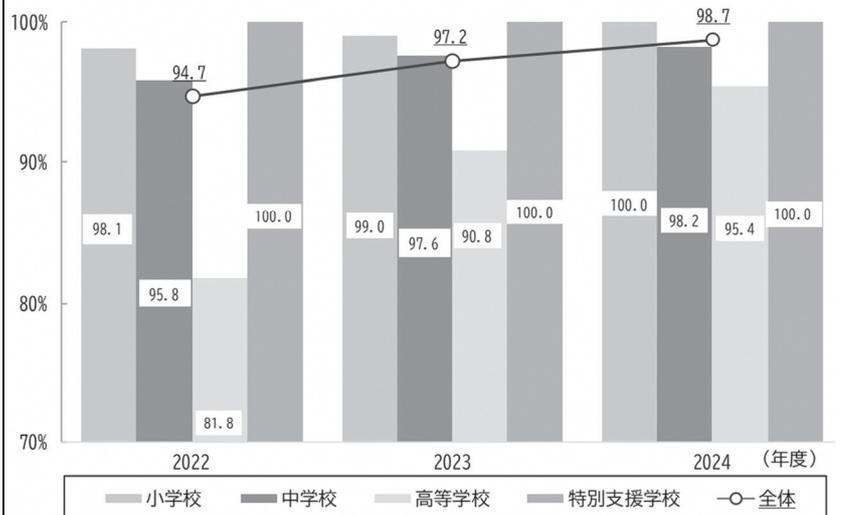
11 人権教育に関する校内研修を行った学校の割合

人権教育に関する校内研修を行った割合は、いずれの学校においても前年度から増加し、全体で98.7%(2024年度)となりました。

(図11)

11 人権教育に関する校内研修を行った学校の割合

図11



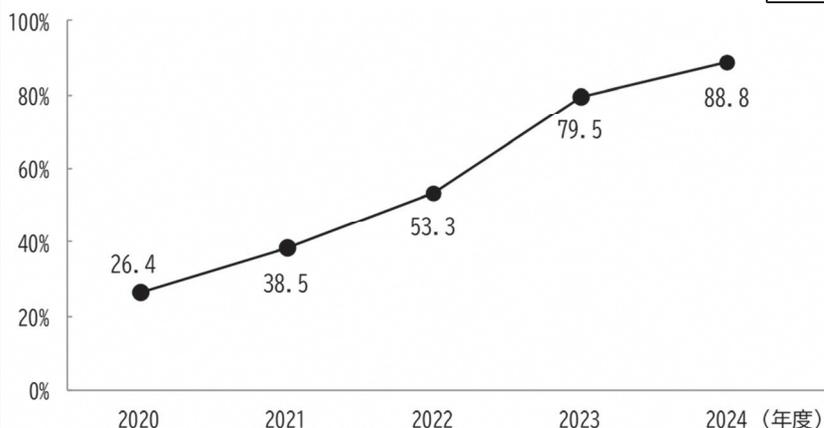
(資料)「学校対象調査」(県教育政策課)

12 県立高等学校における保育・介護体験の実施率

県立高等学校における保育・介護体験の実施率は、コロナ禍中は低下していましたが、88.8%（2024年度）と上昇しています。（図12）

12 県立高等学校における保育・介護体験の実施率

図12



（資料）県高校教育課調べ

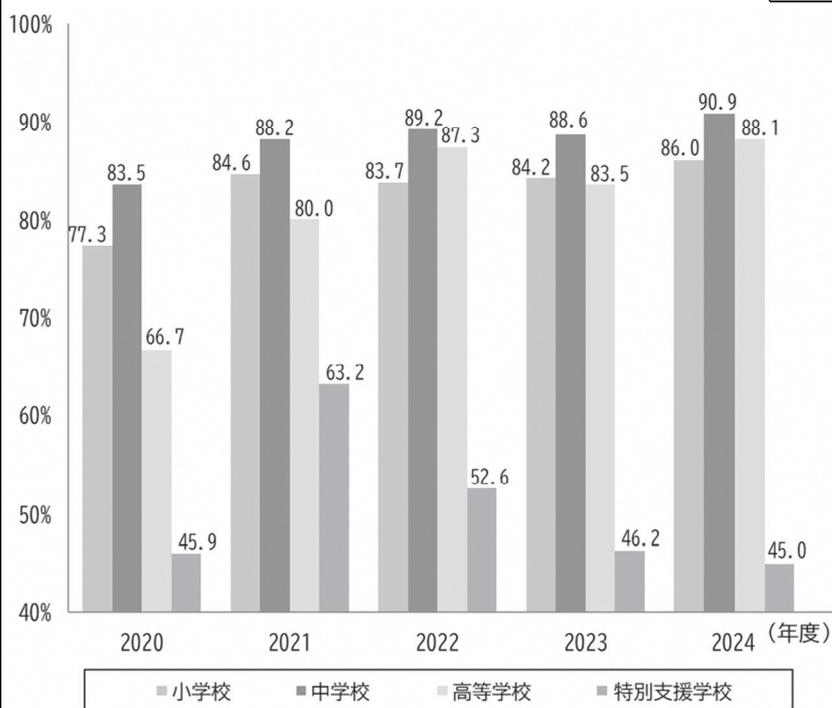
13 男女共同参画に関する題材を扱ったり、その考えを組み入れたりするなどした授業、講座や活動等を実施した学校の割合

男女共同参画に関する題材を扱ったり、その考えを組み入れたりするなどした授業、講座や活動等を実施した学校の割合は、小学校・中学校・高等学校では増加したものの、特別支援学校では減少しました。

（図13）

13 男女共同参画に関する題材を扱ったり、その考えを組み入れたりするなどした授業、講座や活動等を実施した学校の割合

図13



（資料）「学校対象調査」（県教育政策課）

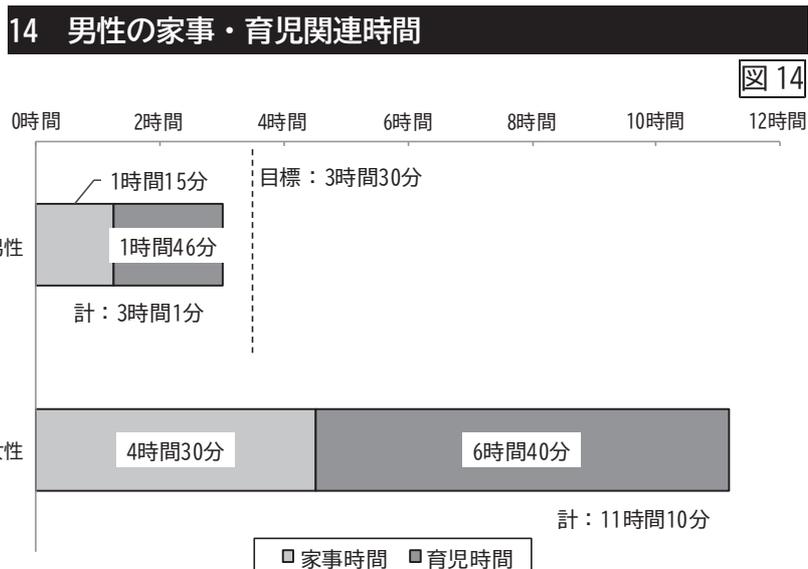
大柱1 男女共同参画社会の実現に向けた意識の変革と教育の推進

1-3 男女共同参画社会に関する国際的協調

指 標	現況値 (基準値)	目標値	実績値
男性の家事・育児関連時間	2021年度 2時間50分	2025年度 3時間30分	2024年度 3時間1分

14 男性の家事・育児関連時間

週平均1日当たりの「男性の家事・育児関連時間」は、3時間1分で、女性の家事・育児関連時間の約4分の1となっています。(図14)

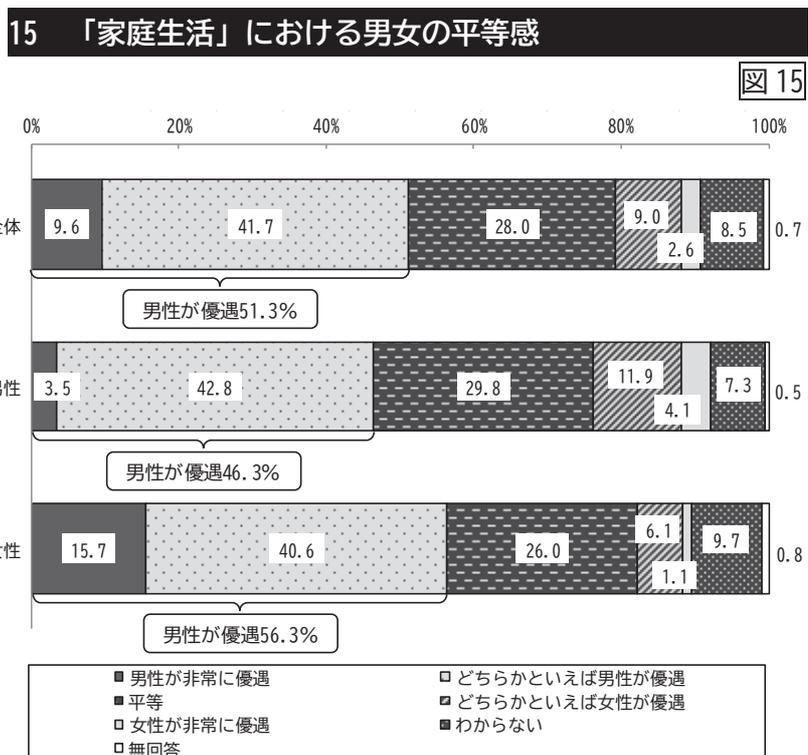


(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(2024)」

15 「家庭生活」における男女の平等感

「男性が非常に優遇」「どちらかといえば男性が優遇」とする人の割合

「家庭生活」における男女の平等感について男性が優遇されていると感じている人の割合は、男性が46.3%、女性が56.3%と、男女間で乖離があります。(図15)



(資料)「静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(2024)」